

糖尿病の予防策紹介

企業関係者 パネル討論

糖尿病研究や予防事業を通して地域経済活性化を図る「とくしま経済飛躍サミット 糖尿病死亡率ワーストワンの脱却！」が開かれ、160人が参加した。徳島大病院糖尿病対策センターの船木真理特任教授が基調講演。徳島県の糖尿病死亡率

はワーストを脱したものの、依然高水準が続く現状を説明した上で「重篤な症状でなくても、高血圧などほかの生活習慣病を併せ持つことで非常に危険な状態になる」と警鐘を鳴らした。

パネル討論では、糖尿病と因果関係の深い歯周病予防に取り組むサンスター(大阪府)や、透析患者のための弁当などを手掛ける「さわ」(徳島市)の担当者ら5人が意見を交わした。パネリストからは

「糖尿病予防のためにも歯のケアは重要。歯磨きを補助する商品が多数出している」「カロリーが低くても満足感が得られるよう、メニューを多彩にして汁ものを付けるなど弁当開発に工夫を重ねている」など、事業のヒントを得られるような意見が相次いだ。

(乾栄里子)